

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有限会社) おいらーく	代表者	星野 二三江	法人・事業所の特徴	母体が医療法人グループで、当事業所は複合施設の2階にあり、1階はクリニック、訪問看護、居宅介護支援事業所、福祉用具貸与事業所で、2階～4階が住宅型有料老人ホームとなっています。透析室も2階に併設していますので、住宅に入居しながら透析も受けられます。医療との連携体制もあり、医療ニーズの高いご利用者様や看取にも取り組んでいます。併設の入居様以外の地域から通われている利用者様にも対応しています。また、車で3分の距離で一軒家を事業所として利用しているサテライトもあり、通い、訪問、泊りも行っています。
事業所名	えくぼ元町	管理者	藤田善子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	人	1人	1人	人	2人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	なし	なし	職員が必要とする内容や反省点などを知る機会となった。地域との関わりの重要性や利用者の目標に向けての取り組みなどの課題も知り得た	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議、運営推進会議、町内会の行事等に、職員も参加の機会を持つ。</li> <li>・新規情報、退院時等の情報の周知方法や、目標・課題の取り組みの見える化を実施</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	なし	なし	大きな建物の中に、複数の事業所が併設されているため、玄関も複数あり、分かりづらく、案内も不十分との意見が多かった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関前の事業所案内の明瞭化</li> <li>・当日の会議場所の案内の掲示板などの設置を行う</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	なし	なし	事業所が余り周知されていない。事業所からのアピールが少なく、交流の機会も殆どない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧版からの情報把握</li> <li>・町内会の行事参加</li> <li>・ボランティアの受け入れ及び参加</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	なし	なし	併設住宅に入居されている利用者さんが殆どであっても、町内会の行事等に参加できる。スタッフも参加して、地域を知ったほうが良い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会の参加</li> <li>・祭り等の参加</li> <li>・運営推進会議での情報交換</li> </ul>

E. 運営推進会議を活かした取組み	なし	なし	地域の情報が少ない 地域の事例検討が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所からの情報発信だけにならないよう、構成委員からの地域の情報も取り入れた会議とする。</li> </ul>
F. 事業所の 防災・災害対策	なし	なし	町内会の消防団の協力が可能 C o C o元町の備蓄、避難場所等を頼りにしたい 職員が災害時にしっかり動くことができるよう訓練や周知が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携での防災訓練実施(町内会の消防団等)・</li> <li>・町内会の防災訓練への参加</li> <li>・C o C o元町施設の防災対策の見える化と職員への周知</li> </ul>